

だどめささら
「ふれあいの森【駄留桜々良の森】」における森林整備活動等の取り組み

九州森林管理局 西都児湯森林管理署
木城森林事務所 首席森林官 中村 正任
森林技術指導官 福岡 忠行
宮崎県児湯農林振興局 林務課長 江藤 能充

1 課題を取り上げた背景

宮崎県の野生鳥獣による農林作物等への被害額は平成24年度で11億円を超え、その9割弱がシカ、イノシシ、サルによる被害であり、農林家の生産意欲の減退等影響は大きく、早急な対応が求められています。

宮崎県木城町駄留地区は、宮崎県の「鳥獣被害対策緊急プロジェクト」の中で、平成23年度にモデル集落に選定され、地域ぐるみの活動と関係機関（児湯農林振興局、鳥獣被害対策支援センター、木城町）一体となった被害防止対策を推進しています。

これまで実施してきた田・畑周辺の活動から、森林エリアを含んだ広範囲での鳥獣被害防止活動や森林と集落等を活かした新たな「駄留地区の地域づくり」を実施するために西都児湯森林管理署と児湯農林振興局林務課、駄留地区鳥獣被害対策協議会で現地検討会や協議を重ね、平成26年8月4日に民・国連携をスタートさせ、三者による活動を展開しているところです。



2 取組の概要

鳥獣被害対策に住民一丸となって取り組んでいる宮崎県木城町駄留地区の鳥獣被害対策協議会会長と西都児湯森林管理署長との間で「ふれあいの森」の協定を結び、地区内民有林と隣接する国有林一帯（約14 ha）を、「森林・山村多面的機能発揮対策交付金」を活用し、森林緩衝帯【鳥獣が

隠れたり、様子をうかがう事の出来るスペース（潜み場）とならないよう、除伐等により整備】として整備しています。

また、これらの活動と一体となって、歩道を作設し、地区住民の憩いの場として、自然観察会などが行える森として活用しています。

西都児湯森林管理署は、森林整備の実行に当たって、技術的なアドバイス等を通じ、地区住民の自主的な森林づくり活動を支援するとともに、箱罨等の捕獲方法を指導し獣害対策についても支援しています。

3 「ふれあいの森」森林整備活動

○ 平成26年度活動計画

活動内容	活動時期		
	～7月	～11月	～3月
除伐(ha)	1	7	6
歩道開設(m)		200	100
植栽(本)			50
自然観察会(回)			1

○ シカ対策の取り組み

- ① 個体数の管理
罨の研修・設置
- ② 被害の管理
防護柵の設置、追い払い
- ③ 生息環境の管理
森林緩衝帯の整備



4 考察

宮崎県は、鳥獣被害防止対策を推進するため「宮崎県鳥獣被害防止緊急対策協議会」を設置しており、森林管理署も会員として参加しています。

引き続き、民国連携して鳥獣対策に取り組むとともに、当地区の鳥獣保護対策が進み、地区住民に明るい笑顔が戻り、住民による森林づくり活動を通じ駄留地区が憩いの場となるよう支援することとしています。